

平成24年度事務事業評価シート

取組みコード 52212

区分	補助金・交付金	担当課	商工観光課	作成日	平成24年5月25日
事業名	愛川町商店会連合会補助金(大型店対策事業)	開始年度		予算科目	6.1.2.2.1

1. 事業の概要

総合計画での位置づけ	
部	第5部 多彩な産業の活力あるまちづくり
章	第2章 活力と魅力ある商工業の振興
節	第2節 商業・サービス業の振興
基本施策	1 魅力ある商業地の形成
取組みの基本方向	(2)消費者が利用しやすい商店街の環境整備を支援します。
根拠法令等	
目的 (誰・何を対象に、何のために)	大型店やディスカウント店の進出により、町内小規模店舗の経営は厳しい状況にあるが、本町の商業振興は小売店舗に依存している。商店会連合会は地域に根付いたこれら店舗の商業環境の整備を進め、地域振興を図る。
内容・方法 (何をを行っているのか)	地域に密着した商業(小売店舗)の振興。

2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標	指標名		平成21年度	平成28年度
		『商業・サービス業の振興』について「満足」と感じる住民の割合(%)		33.1
	卸売・小売業の商品販売額(億円)		554	580

指標の名称(単位)	増減	指標の説明	項目	基準年度(H22年度)	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標 商店会加入店舗数(店)	増	商店会加入店舗数をカウントすることにより、成果の達成状況を確認する。	計画値	/	100	100	100
			実績値	70	70	65	
			達成度※自動計算	/	70.0	65.0	
活動指標 補助金(予算)執行率(%)		補助金の執行率を確認する。	計画値	/			
			実績値	100.0	100.0	100.0	
			達成度※自動計算	/	計測不能	計測不能	計測不能

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年度		基準年度(決算)(H22年度)	平成22年度(決算)	平成23年度(決算見込)	平成24年度(予算)
(A)	事業費(円)	500,000	500,000	500,000	500,000
(B)	概算職員数(人)	0.004	0.004	0.004	0.004
(C)	= (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算	33,200	33,200	33,200	33,200
(D)	= (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算	533,200	533,200	533,200	533,200
単位当たりコスト※自動計算		7,617.1	7,617.1	8,203.1	
財源内訳(円)	特定財源				
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源※自動計算		533,200	533,200	533,200	533,200

4. 事業の項目別評価(分析)

項目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定	
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	公益性 直接的である、間接的であると問わず、事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質か	高低	B	
	必需性 当該事業を実施しなければ町民生活に支障をきたすなど、必要不可欠なものであるか			
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成23年度の目標を達成している	×	C	
	基準年度と比較して成果が向上している	×		
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができていない (判定基準) A 成果が向上している、費用も縮減している B 費用が増加しているが、費用の増加率よりも成果の向上率の方が高い C 成果が低下しているが、成果の低下率よりも費用の縮減率の方が高い D 成果が向上しているが、成果の向上率よりも費用の増加率の方が高い E 費用を縮減しているが、費用の縮減率よりも成果の低下率の方が高い F 費用が増加し、成果も低下している	向上率 成果	92.86%	C
		縮減率 費用	100.00%	
総合評価 ※自動判定		廃止も含めた検討が必要		

5. 特記事項

--

6. 1次評価(担当課)

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
理由	本町の商業振興は小売店舗に依存している部分があるため、見直しや改善の必要性は低い。		
今後の方向性	小売店舗が減少しているが、地域にとってはまだ重要な存在であり現状維持としたい。		

7. 2次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	町としての会員数の増加の取組みの支援を検討すること。		

8. 外部評価(行政改革推進委員会)

評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	/		

9. 外部評価(実施のない場合は2次評価)を踏まえた対応案(担当課)

対応案	中小企業事業資金等既存の融資制度や利子補給などについて更なる周知を図り、利用促進に取り組むほか、商店会関係の他の補助事業等と併せて効果的な事業の在り方を検討し、商店会振興を図る。
-----	---

10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
理由・改善方針	平成25年10月までに、街路灯管理事業補助金等、他の補助金と併せ、より効果の高い小規模店舗振興のための事業等に見直すものとする。		